

札幌市勤務医協議会ニュース

発行 札幌市勤務医協議会
札幌市中央区大通西 19 丁目
札幌市医師会館内

巻 頭 言

新型コロナウイルス感染・ 5 類移行 2 か月を経過して

会長 鶴間 哲弘

新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行して 2 か月あまり経ちました。経済活動も徐々にコロナ禍以前のペースに戻りつつあります。3 年にわたって続いた多方面の制約が解除され、社会は本格的な「アフターコロナ」に突入しています。札幌では、大通公園で「さっぽろ夏まつり」が通常開催されます。7 月 21 日から大通りピアガーデンが開催されており、8 月 11 日からは盆踊りも 4 年ぶりに復活・開催されます。各地で夏を盛り上げるイベントが通常通り開催され、また、人の動きも活発化し国内のみならず海外からの観光客の姿も多数見られるようになりました。新型コロナの 5 類への移行などによる経済効果は 4 兆 2000 億円に上がると予想されています。とくに、海外からの観光客が増加しており、日本を訪れた外国人一人当たりの消費額が、2019 年の平均を 3 割以上上回っており、こうしたインバウンド効果は 2 兆 6000 億円に上がるといわれています。われわれ札幌市勤務医協議会も令和 2 年以降、新型コロナ感染状況を考慮し書面開催としておりました定期総会、記念講演会、懇親会を 6 月 26 日対面にて開催いたしました。記念講演では、「創業 99 年一久大福堂の取り組みと第 28 回全国菓子大博覧会北海道について」というタイトルで、第 28 回全国菓子大博覧会実行委員会事務局長であり、株式会社一久代表取締役社長・久木利弘さんにご講演をいただきました。講演後の質疑も活発に行われました。その後の懇親会も、久しぶりに顔を直接突き合わせての会ということで、アルコールが進みながら盛大に行うことができました。コロナ禍では、zoom などでの会議が多数行われていましたが、やはり、対面での開催はお互いの反応が瞬時に伝わり、盛り上がりも良好とな

ります。

5 類移行後、新型コロナウイルスの感染者が再び増加傾向にあり、日本医師会の理事から 7 月 5 日の記者会見で「現状は第 9 波と判断することが妥当だ」との指摘がありました。札幌でも学校祭などが原因と思われる新型コロナウイルス感染による学級閉鎖や休校が増えています。7 月 12 日時点で、休校となっているのが、高校で 3 校、学年閉鎖が小学校で 1 校と高校で 3 校、学級閉鎖が小学校で 2 校と高校で 2 校と、分かっているだけでも 11 校に及び、特に高校で多い状況となっています。このように、学校での感染が増えている中、医療機関でも発熱外来を受診する患者さんは相変わらず多いようです。今月、南日本新聞から編集局 LINE アカウントを使った感染症に関する意識調査結果が報告されました。5 類移行前と比べた感染防止対策については、最も多かったのが「変わらず」の 63.3%。次いで「緩めた」が 32.4%、逆に「強めた」が 4.3% ありました。世代別では、50 代以上の中・高齢層がなお警戒しているようです。マスク着用の頻度については、「完全にマスクを外した」は、30 代の 18.5% を筆頭に 50 代以下では全世代で 10% 以上となっているものの、60 代は 1.6%、70 代以上では 1.9% と、高齢者がマスクを外していない傾向にあるようです。5 類移行後、新型コロナウイルス感染に対する認識には、とりわけ、世代間で隔たりがあるように思えます。老人施設や病院では従来通りの感染対策が必要ですが、健常者では重症化することは少なくなっており、活発な経済活動を広げながらの感染対策の継続が重要と思われる。

札幌市勤務医協議会の会員数は 186 名(令和 5 年 3 月 31 日時点)で、前年度と比較し 7 名減の状況です。今後、会員の先生方の交流の機会を増やし、会員数増加、本会からの勤務医の意見の発信などをめざしていきたいと思っておりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

(J R 札幌病院)

副会長就任

副会長就任のご挨拶

副会長 川田 将也

私はこのたび、勤務医協議会の副会長に就任することとなり、大変光栄に思っております。選出していただきました会長の鶴間哲弘先生、また会員の皆様に心から感謝申し上げます。

勤務医協議会は、医療現場で働く医師たちが連携し、意見交換を行い、より良い医療環境を築くために努力する組織です。私自身も勤務医として様々な現場で患者さんと向き合いながら、医療の課題や改善点について諸先輩からご指導をいただきました。今後は副会長としての役割を担うことで、より広範な視点から医療現場の問題を捉え、さらに多くの先生のご意見やご指導を賜りながら、より良い医療体制の実現に向けた活動を推進してまいります。

重要な課題として新型コロナウイルス対策があります。第5類感染症に指定され、世の中的にはすでに終息ムードですが、少しは緩んだものの、われわれの現場では依然として特別な対応が求められ、世間とのギャップが存在しています。今後はこのギャップに戸惑わないような適切な着地点を定めることと、新型コロナウイルス対策で得た経験をいづれまた来るであろう未知の感染症対策に向けて記憶の薄まらないうちに体制を構築する必要があります。このあたりは国や自治体の号令が必須であり、われわれ現場の考え方だけではどうにもなりません。情報共有を図って少しでも医療現場における安全な環境の確保に努めてまいります。

また、喫緊の課題として医師の働き方改革問題があります。医師の働き方改革とは、ご存じの通り医師の労働環境改善と健康確保を目的として、長時間労働の制限を行う取り組みですが、果たして理想通りの結果になる方はどのくらい該当するのでしょうか。形式的な変更だけで実態はより厳しくなる方も

いると予想されます。労務管理、勤務体系、時間外労働、連続勤務、宿日直、副業・兼業、人手不足、タスクシフト・タスクシェア、情報技術の活用、効率と負担軽減、育成とキャリアアップ、給与体系、労働基準監督署など、少しキーワードを挙げるだけでも、無限に湧き出てくる印象です。また、管理者側なのか労働者側なのか、官公立系なのか民間系なのかでもまったくとらえ方が変わってきます。立場によっても大きく意見の異なる問題ではありますが、皆様の意見を協議会で共有し、win-win な働き方の実現に向けた取り組みが提案できればと思っています。

最後になりますが、私を副会長に選出していただき、このような貴重な機会を与えていただいたことに深く感謝申し上げます。会長の鶴間先生および皆様と共に力を合わせ、勤務医協議会の活動を盛り上げ、より良い医療環境の実現に向けて全力で取り組んでまいります。

引き続き、皆様のご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

(国家公務員共済組合連合会 斗南病院)



記念講演会抄録

『一久大福堂の取組と第28回菓子大博覧会・北海道 旭川開催』について

(株)一久 もち処一久大福堂
代表取締役社長 久木 利弘

「先代が他界」

昭和61年5月に父親から肝臓の調子が悪く少し入院すると電話がありました。ところが、あれよという間に劇症化して肝硬変となり、入院後20日足らずで亡くなりました。典型的なB型肝炎の症状でした。当時、私は東京で会社員をしていて5月7日に父にとって初孫の長男が誕生したばかりでしたが、合わせる間もなく他界してしまいました。こうして突然に事業継承を余儀なくされた私は同年6月に会社を退職して7月から店を継ぐことになりました。

「法人化」

当時は、個人商店『一久餅菓子本舗』でしたが翌年4月に法人化し家族経営から脱皮しました。最初に手掛けたのは創業理念でした。働く人の人格の形成と世間に対しての信用を文言で担保しました。主眼においていることは人づくりです。この35年間自分は何をしてきたのかと問われれば、人づくりをしてきたのだと思います。一久には『商人道の10カ条』という条文があり、その中に「ものをつくるより人をつくれ」という言葉があります。感動を与えられる人間にならなければ明日は無いという戒めが含まれています。

「出会い」

旭川青年会議所に入会し1993-4年頃に、開業医のK医師と出会いました。同じ委員会で骨髄バンク推進運動に誘われました。彼はこの運動が1年間の社会実験としてどのような効果と結果をもたらすかを評価してみようと計画していたのです。市民ボランティア団体、行政と旭川青年会議所、そしてマスコミを活用して運動効率を高めることでした。更に、日本青年会議所医療部会の協力も得て、小さな町の大きな運動として高く評価されました。そしてこの

運動は「旭川発全道全国へ」を合言葉として広まり、青年会議所の日本と世界のボランティア活動のアワード表彰を受けました。実際に、旭川市内での骨髄バンク登録者数が運動期間中に急増したことや、当時の旭川青年会議所K理事長が骨髄を提供して骨髄移植を行い、内外にも運動の成果として広く伝わりました。

「大福堂の商品はどんな人がつくる」

弊社に入ってくる若手の社員の中には苦勞をしてきた者も多くいます。家庭の事情で経済的に困窮していた者、若くして大病を患った者などがいます。社員となり懸命に取り組んでくれている彼らの努力が報われるように、潜在的な能力に光を当てたいと常々考えます。その一つとして国家資格の技能検定である和菓子技能士1級取得を目標にしてもらっています。一久の銘菓「ぼねぐる」の試作開発を手掛けたS子は、進学校でありながら、大学進学を諦めて弊社に入社しましたが、その後製菓専門学校の夜間を出て、難関の1級を20代で取得。20代女性の1級取得は、全国的にもわずかであったという事です。また「まるっ恋だんご」を試作開発したGは、21歳で大病を患いながらも先進医療のおかげで克服し、その後努力して国家検定和菓子2級・1級を取得しました。現在11名ほどの1級技能士がおります。だからと言って何か特別なことが出来るということではなく、一つ一つ丁寧且つ慎重に失敗せずに物づくりができるようになってきたと思います。

「餅と人生」

・餅は人間の生命に力を与える食べ物の代表として、古より信じられてきました。食料としての餅だけでなく、その関わりと意味あいを記しました。

・誕生餅／家督相続を受ける者の誕生を祝う。家の重みを伝える。白の一升餅

・一歳の誕生餅／誕生餅の報恩感謝。紅白餅
赤子から人へ。一生(一升)を授ける。一升紅白を背負って歩かせる。

すたすたと歩く子は(労働力として郷への定着を願う)祖父が転ばせる地方もある。餅の上を歩かせる地方もある。

・入学・卒業／紅白餅・紅白大福・紅白饅頭。紅白

は魔よけ。

・結婚式／小丸もち・お吸いもの用小丸餅は子宝、子孫の繁栄、懐任を願う。

・地鎮祭／一升白供え。建設工事開始にあたり、地の神を鎮める儀式。基礎工事から骨組みまでの大事な時の安全を願う。

・建前(上棟式)／地鎮祭の報恩感謝。紅白一升供と四隅に紅白餅。組み立ての無事を祝う。赤飯と日本酒を振る舞う。家が建つことは、至極の幸福とされ、大いに幸を分け合うことから挨拶がわりに撒き餅も行なわれた。

・葬式／おけそく(白もち)

下足(げそく)番→足元をお世話する意味。「お」が付いて、おけそくとなったなど諸説ある。

「羊羹需要と羊羹コレクション」

羊羹は元もと羊(ひつじ)の羹(あつもの)、つまり羊肉のスープであり、中国に留学した禅僧によって日本に紹介されましたが、禅宗では肉食は禁止、肉の代わりに小豆を用い菓子に進化しました。江戸時代に現在の練羊羹の形になり、食感、日持ちの良さからその人気は戦後まで続きました。しかし現在は需要が低迷しています。日本の羊羹の存続に危機感を抱いた日本を代表する菓子屋などが中心となり、羊羹を日本の食文化としてプロモーションする「羊羹コレクション」が2010年に発足しました。全国有名百貨店を巡る羊羹だけの催事です。2016年には文化庁の補助金を得てパリの日本文化会館で、2017年にはシンガポールの国立博物館で、2019年にはニューヨークで行われました。初日は日本総領事公邸でセレブを招きパーティースタイルでお披露目、翌日からは展示場に会場を移し、羊羹の展示、実演と試食が行われました。食意識が高いニューヨーカーの特にベジタリアン、ビーガンが興味を示してくれました。また羊羹や大福餅はハラルフードの条件を満たしており、都内ではモスLEMの人たちが大福餅をよく食べていると聞きました。日本の伝統的な菓子が他の文化の力を借りて存続していくことを願っています。

「第28回全国菓子大博覧会・北海道『SMILE SWEETS HOKKAIDO』in 旭川 2025」

2017年の「お伊勢さん菓子博」以来、8年ぶりに2025年旭川市において第28回全国菓子大博覧会・北海道を開催する運びとなりました。

全国菓子大博覧会は過去100年以上にわたり、菓子業界最大規模の祭典としておおよそ4年に1度、全国各地で開催してきた伝統ある博覧会であり、菓子業界の発展のみならず観光、宿泊、飲食、交通など地域経済に大きな貢献をしてきております。

お菓子で作られた芸術品である工芸菓子の展示をはじめ、お菓子原材料の宝庫である北海道の魅力を表現し、さらに全国・全道のお菓子の販売など「お菓子があるところに笑顔が広がる、ワクワク感が加速する」来場者に満足していただける菓子大博覧会を目指していきます。

開催方針は

- 継続可能な菓子博実現に向けて、事業規模のコンパクト化を図る
- 北海道は、お菓子の国産原料トップシェアであることを広く全国へアピールする
- 北海道開拓の歴史とともに育まれたお菓子を伝える
- 地域活性化に寄与する「地産地消」や「地域の食」を念頭に入れた博覧会とする
- 次代を担う若者にお菓子の魅力を感じられる博覧会とする
- ウィズコロナを経てデジタル技術を取り入れた博覧会とする

■開催期間：令和7年5月30日(金)～6月15日(日)
(17日間)(想定)

■開場時間：10時00分～18時00分

■会場：旭川市 道北アークス大雪アリーナ
地場産業振興センター

■主催：第28回全国菓子大博覧会・北海道実行委員会

北海道では、57年ぶり札幌開催以来となります。どうか、この機会にご来場賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

**第35回札幌市勤務医協議会
定時総会について**

令和4年度札幌市勤務医協議会事業報告

月日	事業内容
4.26	・第1回役員会（オンライン） 第1号 第34回札幌市勤務医協議会定時総会 関連事項について 第2号 令和4年度札幌市勤務医協議会産業 医研修会について 第3号 その他：勤務医協議会ニュース （No.59）発行について
5.23	・第34回定時総会（書面開催） 1. 報告事項 第1号 令和3年度事業報告 第2号 令和3年度会計収支決算 第3号 令和3年度監事報告 第4号 その他 2. 協議事項 第1号 令和4年度事業計画案に関する件 第2号 令和4年度会計収支予算案に関する 件 第3号 役員の変更に関する件 第4号 その他
6.8	・『勤務医協議会ニュース No.59』発行
8.3	・産業医研修会（産業医協議会主催） 場 所：札幌市医師会館 テーマ：「職場巡視の要点」 講 師：北海道安全衛生研究所 会長兼所長 池田 和博 先生 参加者：85名
9.1	・産業医研修会（産業医協議会主催） 場 所：札幌市医師会館 テーマ：「職場における若年性高次脳機能障 害」－脳卒中後遺症を中心に－ 講 師：勤医協中央病院 名誉院長 伊古田 俊夫 先生 参加者：79名
9.15	・産業医研修会（産業医協議会主催） 場 所：プレミアホテル中島公園 テーマ：「職域健康診断の事後措置」 ～就業判定を中心に～ 講 師：産業医科大学 産業生態科学研究所 災害産業保健センター 教授 立石 清一郎 先生 参加者：98名
11.11	・産業医研修会 場 所：札幌市医師会館 テーマ：「新型コロナウイルス感染症から患 者と職員を守るために」 講 師：札幌医科大学医学部 呼吸器・アレルギー-内科学講座 准教授／札幌医科大 大学附属病院 感染制御部 副部長 黒沼 幸治 先生 参加者：83名
3.1～ 3.15	・第43回札幌市病院学会（WEB開催） 演題数：70題（19医療機関） 参加者：123名

令和5年3月31日現在会員数 186名
（前年度比-7名）

令和4年度札幌市勤務医協議会収支決算報告

【収入】

項目	予算額	収入額	増減比	摘要
会費	579,000	361,031	-217,969	会費(122名)
札幌医 交付金	400,000	400,000	0	札幌医交付金
雑収入	1,000	21	-979	預金利息
繰越金	1,998,670	1,998,670	0	前年度繰越金
計	2,978,670	2,759,722	-218,948	

【支出】

項目	予算額	支出額	増減比	摘要
会議費	500,000	33,000	-467,000	役員会費用弁償
事業費	800,000	174,836	-625,164	病院学会経費外
通信費	400,000	93,491	-306,509	ニュース発送外
慶弔費	100,000	0	-100,000	
事務費	100,000	60,000	-40,000	事務協力費
予備費	1,078,670	0	-1,078,670	
計	2,978,670	361,327	-2,617,343	

(収入額) - (支出額) = (次期繰越額)
2,759,722円 - 361,327円 = 2,398,395円

令和5年度事業計画

No.	事業項目	予定回数	担当部	備考
1	総会	1	総務部	
2	講演会	1	総務部	(例年は総会と同日開催)
3	役員会	6回以内	総務部	
4	部長会	適宜	総務部	
5	学術講演会	1	事業部	2月病院協議会と合同
6	産業医研修会	1 (主催) 2~3 (共催)	事業部	主催:11月頃開催 共催:産業医協議会と調整して開催
7	勤務医委員会・病院協議会との懇談会	1	総務部 事業部	全国勤務医部会開催後予定
8	病院学会共催	1	事業部	2月開催予定
9	札幌市勤務医協議会ニュース発刊	適宜	総務部	随時発刊予定
10	札幌医通信執筆	適宜	総務部 会計部 事業部 厚生部	勤務医協議会活動について (ゴルフ大会報告等)
11	全国医師会勤務医部会連絡協議会	1		10月7日青森県

令和5年度札幌市勤務医協議会収支予算

【収入】

項目	予算額	(前年度)	増減比	摘要
会費	558,000	579,000	-21,000	会費(186名)
札幌医交付金	400,000	400,000	0	札幌医交付金
雑収入	1,000	1,000	0	預金利息
繰越金	2,398,395	1,998,670	399,725	前年度繰越金
計	3,357,395	2,978,670	378,725	

【支出】

項目	予算額	(前年度)	増減比	摘要
会議費	500,000	500,000	0	総会経費外
事業費	800,000	800,000	0	各部事業活動等
通信費	400,000	400,000	0	各種会議等開催案内等
慶弔費	100,000	100,000	0	弔慰見舞
事務費	100,000	100,000	0	事務用消耗品外
予備費	1,457,395	1,078,670	378,725	
計	3,357,395	2,978,670	378,725	



新執行部

- ・ 会長 鶴間 哲弘 (JR札幌病院)
- ・ 副会長 小林 尚子 (中橋内科クリニック)
- 川田 将也 (斗南病院)
- ・ 幹事 吉田 祐一 (東苗穂病院)
- 鷺見 佳泰 (中村記念南病院)
- 澤田 格 (西岡病院)
- 占部 和之 (札幌南一条病院)
- 中川 麗 (JR札幌病院)
- 松村 道哉 (手稲溪仁会病院)
- 西川 秀司 (市立札幌病院)
- 橋本 茂樹 (札幌溪仁会リハビリテーション病院)
- ・ 監事 大岩 彰 (愛全病院)
- 水尾 仁志 (勤医協中央病院)
- ・ 議長 三橋 公美 (札幌北辰病院)
- ・ 副議長 真尾 泰生 (勤医協中央病院)
- ・ 顧問 今 真人
- 平賀 洋明
- 田中 靖通
- 松波 己夫
- 工藤 靖夫
- 土田 哲人
- 成田 吉明

「札幌市勤務医協議会ニュース」の閲覧について

「札幌市勤務医協議会ニュース」を札幌市病院協議会のホームページに掲載しております。

バックナンバーも閲覧できますので、是非ご覧ください。

札幌市病院協議会ホームページ URL

<https://www.sapporo-byoinkyō.jp/>

